

# Newsletter



日本教育情報学会  
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No. 4 1985. 12. 23

事務局：〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15 産業能率大学企画室内

日本教育情報学会運営本部事務局 TEL (03) 724-8993

## 日本教育情報学会 第5回研究会

教育研究（文献、資料）情報流通の研究会

実行委員長 手塚 晃（埼玉大）

場所 国立教育会館（東京都千代田区霞が関3の2の3）

日時 昭和61年3月26日（水）

国立教育研究所を中心とした教育情報センター構想が検討され、また、国立婦人教育会館、特殊教育総合研究所等でも教育研究等に関するデータベース開発の準備が進められています。また、岐阜大学カリキュラム開発研究センターでは、約10万件の文献を登録し、その一部が国立教育研究所、筑波大学、その他の関係機関へ移植し、情報検索が可能になってきました。（それらの中に記されている学会誌、大学紀要等については、ニューズレターNo.3でお知らせいたしました。）

このように、各方面で教育研究文献データベースが開発されています。そこで、今回、各機関での開発状況、各学会・研究者の協力関係および研究者、教育センターでの利用方法、状況等について広く教育に関する文献情報の流通についての研究会を開催いたします。

研究会の詳しい内容については、追ってお知らせいたします。ぜひ、多数御参加下さるようお願いいたします。

## 日本教育情報学会の活動状況について

学会が本年の7月に設立されて半年が経過し、その間に、各方面の方々から学会活動について「何をしているのか」とお叱りを受けることもたびたびでした。このため、運営委員と各部会でまず学会の基本活動として研究会、研修会をできるだけ毎月開催するようになってきました。どうか皆様方の協力で、学会としての活動が始められる状況になって、毎月予想以上の参加者がありました。

現状を報告し、会員の方々からこれらについてのご協力と同時に学会活動への積極的な参加またご意見を願います。

「入会のしおり」にもありましたように、学会活動としては、

- 1 教育情報に関する需要と供給についての調査研究
- 2 教育情報システムの開発とそのアセスメント
- 3 教材の開発と活用に関する研究
- 4 教育情報の国際交流に関する研究
- 5 教育の活性化に関する教育情報の役割のついての調査・研究
- 6 教育情報流通にかかわる諸問題に関する調査・研究

また事業活動の計画としては、

- 1 研究プロジェクト
- 2 教育情報の流通事業
- 3 教材・教具に関する教育情報の紹介
- 4 教育情報システムの開発
- 5 研究会・研修会・講習会開催および援助
- 6 調査研究
- 7 学会事業の支援組織の設立

となっています。

運営委員会としては、この事業計画にもとずいて次のように活動を始めています。

#### (1) 研究会等の活動状況

研究会は、学会活動の最も基本的な事項であり、できれば毎月開催できるように努力してまいりました。

9月14日 「VDとパソコン」研究会 岐阜大学教育学部附属中学  
(ニューズレター№3に報告) (参加者 約450名)

10月26日 コンピュータの教育利用研究会(1) 東京都立教育研究所

総会・挨拶 日本教育情報学会 木田宏会長

記念講演 「これからの教育とコンピュータ利用の問題」

文部省初等中等教育局中学校課長 林田英樹

シンポジウム「コンピュータの教育利用をめぐる」

司会 深谷哲

11月20日 学習情報流通と利用研究会(1) 私学会館 (参加者 約130名)

1. 学習情報の種類とデータベース作成について 若山皖一郎
2. 教材情報の流通とその利用法 荒井豊, 芦葉浪久
3. 教育情報流通と地域ネットワークについて 永野和男
4. 教育ソフト調査の中間報告(1) 学校教育情報研究部会  
～CAI, シミュレーション等の学習ソフト開発の現状～

講演「データベースとニューメディアに関する著作権について」

文化庁"著作権審議会第7小委員会(データベース及びニューメディア関係)報告書"  
の資料提供・説明

文化庁著作権課長 岡村 豊

5. 学習情報のデータ構成について 後藤忠彦

6. 教育情報の流通を促進する公共政策 手塚晃

4月以後は、2ヶ月に1回以上の研究会の開催の計画を進めています。ただ何しろ、学会が7月に設立され、それから研究会の準備を始めたために、会場がなく、いつも1カ月くらい前にしか決まらない状況です。このため、会員の方々に連絡等で大変迷惑をおかけしておりますが、本年度はこの事情をご推察の上、お許しくださいますようお願いいたします。(1年以前より申し込まれている会場が多く、昭和61年4月からはそのようなことがないように今から会場探しをしています。この点もぜひ協力くださるようお願いいたします。

また、現在準備を進めております産業教育情報研究部会も昭和61年4月からは活動を始めますので、今より各種の研究会が開催できるようになります。各研究会に多数参加くださいますようお願いいたします。

研究会の参加費について

研究会には、会場費、資料印刷費を必要としますが、経済的な余裕がありませんので、研究会の都度参加費(資料代を含む)を決めさせていただきます。(尚、会員は非会員より安くさせていただきます。このときの会員は原則として個人会員とし、特別な場合に限り公共会員は1名、賛助会員は3名まで研究会参加費を会員割引とします。)

## (2) 研修会について

研修会の要望は、各方面からあり、特にコンピュータの教育での利用について希望が多いため、主として会員の先生方をお願いし、できるだけ開催をするよう計画しています。

これは、会場、テキスト、印刷等の開催の準備が大変であり、またまだ経済的に困難な面が多く、関係の機関との共催で進めるようにいたしますのでよろしく協力方お願いします。

今後は、月に1回ぐらいの研修会・講習会の開催を東京・大阪等で実施できるよう努力いたします。

現在までに、次のように研修会を開催しました。

10月27日 コンピュータの教育利用研修会(1) 東京都立教育研究所(参加者約400名)

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| 1. 教師のためのコンピュータ利用について     | 後藤忠彦 |
| 2. 学習活動におけるCAIの活用         | 芦葉浪久 |
| 3. 学校段階におけるコンピュータリテラシーの教育 | 山極隆  |
| 4. 海外におけるコンピュータリテラシーの教育   | 長谷川忍 |
| 5. 学校段階におけるコンピュータ利用の諸問題   | 坂元昂  |

12月8日 コンピュータの教育利用研修会(2) 大阪テイジンホール(参加者約220名)

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| 1. 情報社会と教師教育の課題           | 後藤忠彦 |
| 2. 学校におけるCAI教育と研究課題       | 深谷哲  |
| 3. 学校段階におけるコンピュータ利用       | 芦葉浪久 |
| 4. 学校段階におけるコンピュータリテラシーの育成 | 山極隆  |
| 5. ニューメディアとこれからの教育        | 水越敏行 |
| 6. 情報社会と学校経営の課題           | 上寺久雄 |

研修会をできるだけ毎月開催できるように講演者、会場の連絡・準備を進めています。

研究会参加費について

会場費、テキスト・資料印刷費等を参加費としてお願いしています。(研修会の参加費は、会員、非会員の区別をしていません。)

### (3) 部会の活動について

#### \*大学・産業情報研究部会

大学の専門教育、産業教育の教育情報を研究する部会を設立し、昭和61年4月には設立総会を開催できるように準備を進めています。

#### \*学校教育部会

学校教育に関する情報の流通・利用について研究を進める部会は昭和60年10月26日に設立総会を開催し正式に連絡をとり、研究会、研修会、研究プロジェクト、教材資料(学習ソフト等)調査、流通等を始め学会事業活動を支援する部会活動を始めました。

### (4) 調査研究と教材の紹介

パソコンに学習ソフト、教材作成支援システム等の開発状況について、各教育機関、関係会社(約300社)に調査を昭和60年8月より始めたところ現在までに1000件を越す教育ソフトについての情報収集の協力が得られました。

現在、まだ各社より情報が送られてきますが、一応整理をして3月までには報告書を出すよう計画しています。

### 日本教育情報学会の活動経過および活動計画

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 7月18日  | ニューズレターNo.1発行                  |
| 7月25日  | 創立総会、創立記念講演、第1回理事会             |
| 8月21日  | 第2回理事会                         |
| 9月14日  | ニューズレターNo.2発行                  |
|        | 第1回研究会「ビデオディスクとパソコン」(岐阜大学附属中学) |
| 10月25日 | ニューズレターNo.3発行                  |

- 10月26日 学校教育情報研究部会総会・研究会 (東京都立教育研究所)  
 10月27日 コンピュータの教育利用研修会(1) (東京都立教育研究所)  
 11月20日 第3回研究会「学習情報流通と利用研究会」 (私学会館)  
 11月22日 第3回理事会  
 12月 8日 コンピュータの教育利用研修会(2) (大阪・テイジンホール)  
 12月23日 ニューズレターNo.4 発行

活動計画 (現在、計画が進められている活動)

- 1月12日 コンピュータの教育利用研修会(3) (東京・東京医科歯科大学)  
 1月 学会誌・設立記念号発刊「教育情報研究」  
 2月 9日 コンピュータの教育利用研修会(4) (大阪予定)  
 未定 「コンピュータの教育利用についての教師教育」研究会  
 3月26日 教育関係(文献・資料)情報流通の研究会 (日本教育会館)  
 3月 学会誌発刊「教育情報研究」  
 4月24日～27日 第4回理事会・総会・シンポジウム・研究会、  
 「学習ソフトの開発」研究会 (東京・サンシャイン)。

(このほかに、運営委員会、各部会で計画している小研究会、研修会がありますが、会場、日程が決まり次第お知らせいたします。特に、教育現場の方々の実践も含めた研修会の希望が寄せられていますので、今年度中に1回開催するよう計画を進めています。)

理事会 (昭和60年11月22日)

会員承認について

会員募集について、今後産業界、専門学校等関係者に広くお知らせして行くことを確認し、合わせて、8月22日～11月21日までの会員申込者209名について審議し、会員が承認されました。

理事・顧問について

国際問題担当の理事および顧問を選出する必要性から理事および顧問が新たに以下のように推薦されました。(尚、両氏ともお引き受けくださいました。)

理事 中山 和彦 氏 (筑波大学教授)

顧問 安藤 馨 氏 (情報処理国際連合 会長)

活動計画について

学会誌刊行計画、研究会、研修会等の活動および今後の予定について報告がなされました。教育関係のデータベースに関して広く交流の場を設ける必要性がある旨提案があり、昭和61年3月26日に研究会を開催することになりました。

### 第3回研修会「学校段階におけるコンピュータ教育利用」

日本教育情報学会 学校教育情報研究部会

日時 昭和61年1月12日(午前10時～午後4時)

会場 東京・お茶の水・東京医科歯科大学 5号館講堂

<<講座内容>>

(1)創造性の育成とコンピュータ教育利用

国立教育研究所第3研究部長 永野 重史

(2)教材作成とオーサリングシステムの動向

東京学芸大学助教授 堀口 秀嗣

(3)小・中学校におけるコンピュータ利用

文部省教科調査官 山極 隆

(4)教育用ソフトウェアの開発指針(社会教育審議会報告説明)

文部省学習情報課 橋本 幹夫

(5)メディアとコンピュータ利用

東京女子体育大学教授 長谷川 忍

(6)学習資料とコンピュータ教育利用

岐阜大学教授 後藤 忠彦

### 総会・研究会・シンポジウムの開催

CAI&ニューメディア・ショー'86も同時に開催

テーマ 「明日の教育メディアを考える」

会期 昭和61年4月24日(木)～27日(日)

会場 サンシャインシティ・センターホール(東京都豊島区東池袋3-1)

(詳細は追ってニューズレターでお知らせします。)

### 会員の募集について

学会の会員募集については、現在までに多数の方々にご案内をいたし、現在も毎日入会が続いています。しかし運営委員のみでは限界があり、ぜひ、会員の方々の推薦および入会の呼びかけをよろしくお願い致します。(入会案内、申込み用紙は学会本部にお知らせいただければ、お送り致します。)

### 年末年始の運営について

学会運営本部は、12月28日から1月5日まで業務をお休みさせていただきますのでご了承ください。